

1.5 都市機能

1.5.1 行政施設

本市の行政施設として、生駒市役所が生駒駅南側に位置しています。また、市内3か所に市民サービスコーナーが設置されています。

表 1-9 行政施設

名称
生駒市役所
市民サービスコーナー
<ul style="list-style-type: none"> ・鹿ノ台ふれあいホール(旧鹿ノ台地区公民館) ・北コミュニティセンターISTAはばたき ・南コミュニティセンターせせらぎ

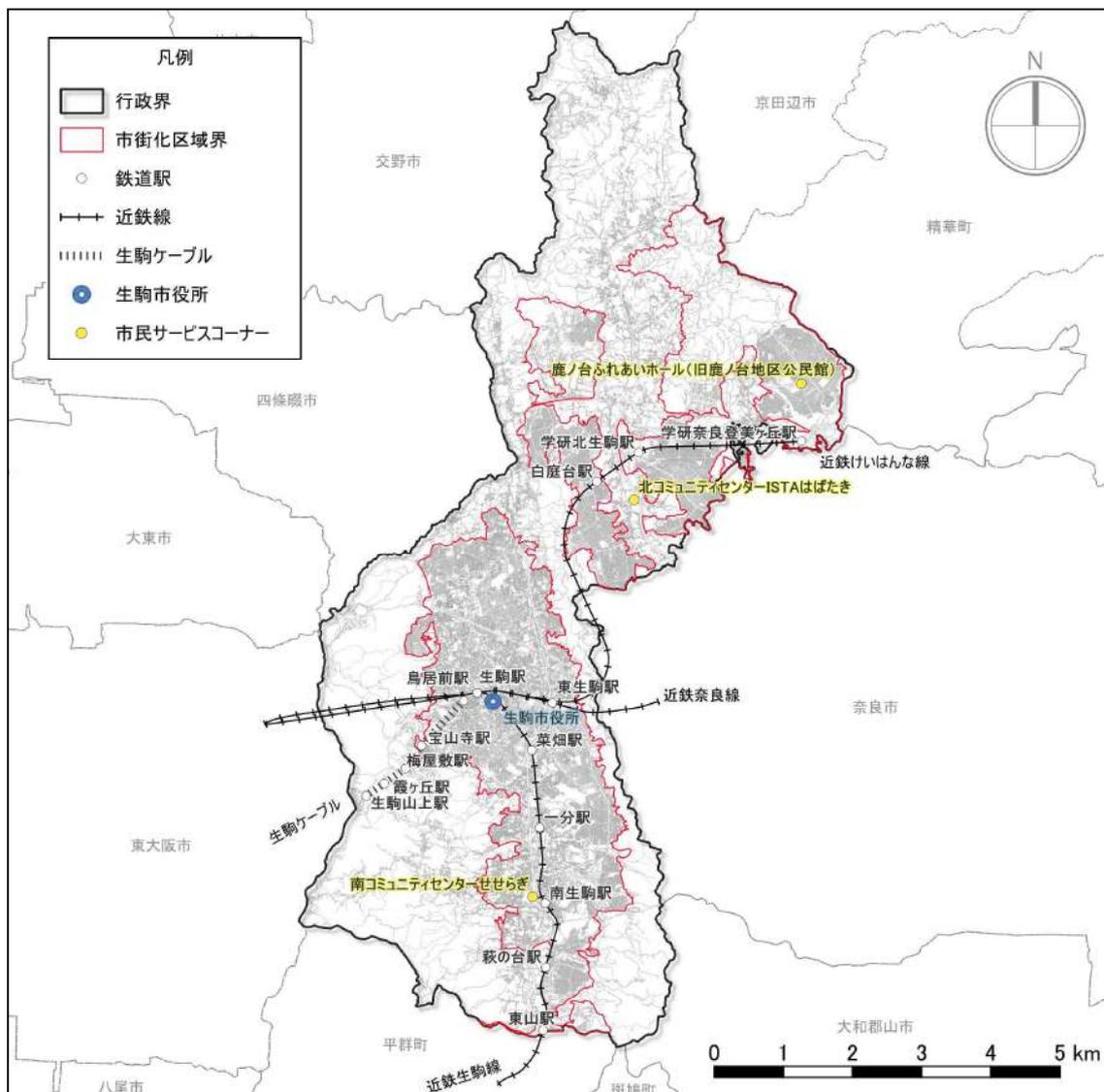


図 1-38 行政施設位置図

1.5.2 高齢者福祉施設

(1) 高齢者福祉施設の徒歩圏（500m）カバー状況

令和2（2020）年の老年人口（65歳以上）比率は3割を占め、今後も高齢化が進むと予測されます。令和2（2020）年から令和27（2045）年で、高齢者福祉施設の徒歩圏（500m）の老年人口密度は11.1人/haから13.1人/haに増加し、カバー率は83.7%から85.5%に上昇することが予想されます。

表 1-10 高齢者福祉施設の徒歩圏（500m）カバー率

年度	都市計画区域内 老年人口（人）	徒歩圏 老年人口（人）	圏域面積 （ha）	徒歩圏 老年人口密度 （人/ha）	カバー率 （%）
令和2年	33,430	27,981	2,511.7	11.1	83.70
令和27年	38,388	32,827	2,511.7	13.1	85.51

出典：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

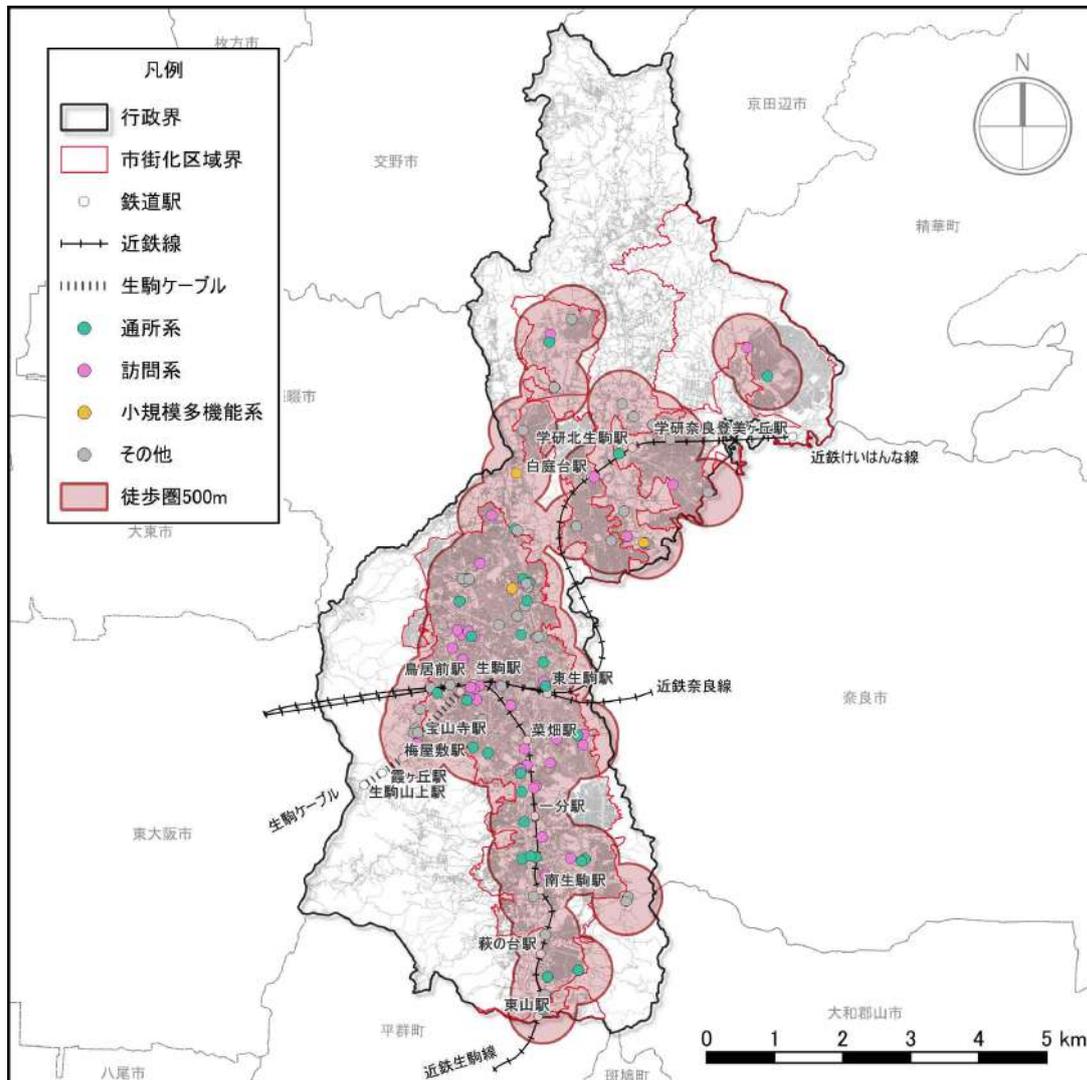


図 1-39 高齢者福祉施設の徒歩圏（500m）カバー状況図

出典：介護サービス情報公表システム（令和6年）

(2) 高齢者福祉施設への行きやすさの満足度

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、高齢者福祉施設への行きやすさの満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は9.0％と低く、不満足（やや不満＋不満）は25.2％と高くなっています。

地域類型別では、計画的市街地（新）で比較的満足が高いものの15.0％以下となっています。また、市街化調整区域の旧集落_中・北では不満が高くなっています。

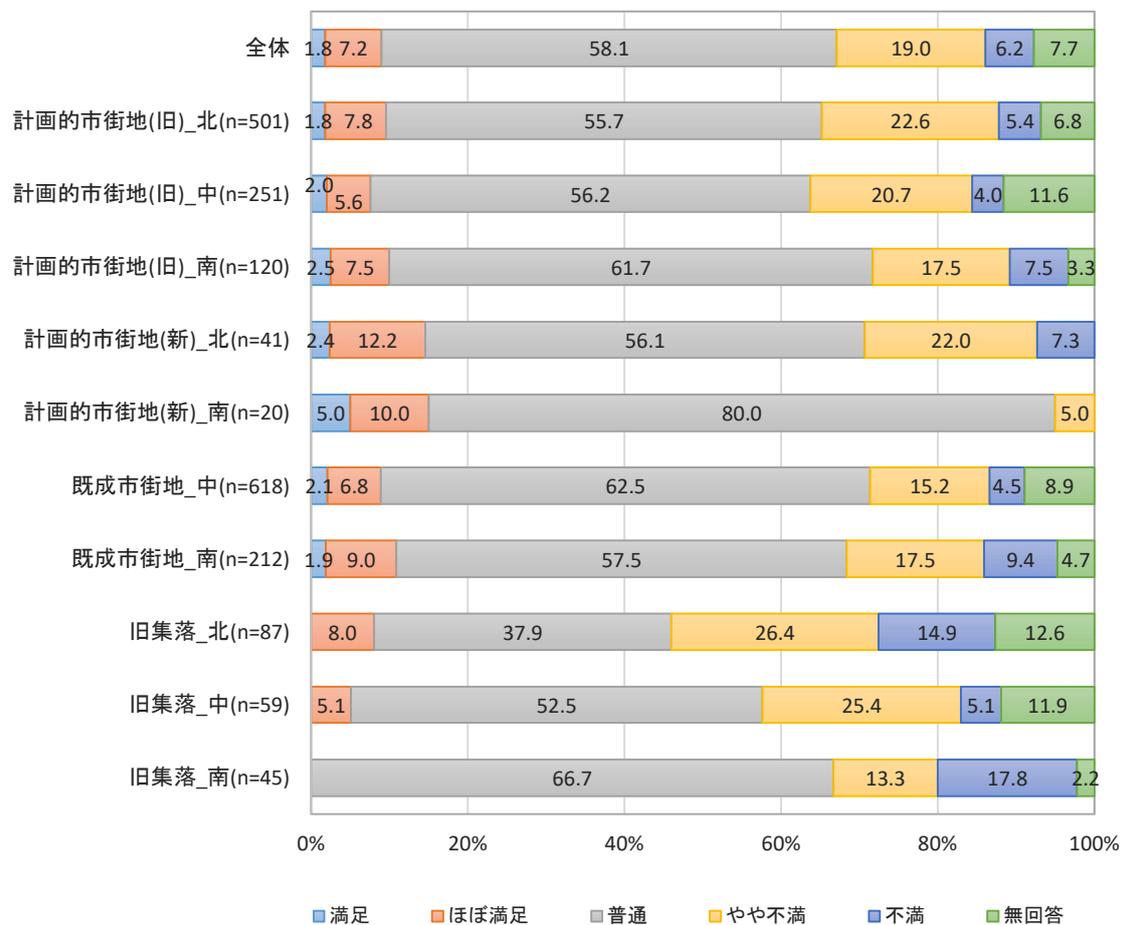


図 1-40 高齢者福祉施設への行きやすさの満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

1.5.3 子育て支援施設

(1) 子育て支援施設の徒歩圏（800m）カバー状況

令和2（2020）年の年少人口（0～14歳）比率は13.8%を占め、今後も減少傾向が進むと予測されます。令和2（2020）年から令和27（2045）年で、子育て支援施設の徒歩圏（800m）の年少人口密度は、5.0人/haから3.7人/haに低下し、カバー率は99.5%から97.7%に低下することが予想されます。

表 1-11 子育て支援施設の徒歩圏（800m）カバー率

年度	都市計画区域内 年少人口（人）	徒歩圏 年少人口（人）	圏域面積 （ha）	徒歩圏 年少人口密度 （人/ha）	カバー率 （%）
令和2年	16,057	15,972	3,194.5	5.0	99.5
令和27年	11,952	11,677	3,194.5	3.7	97.7

出典：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

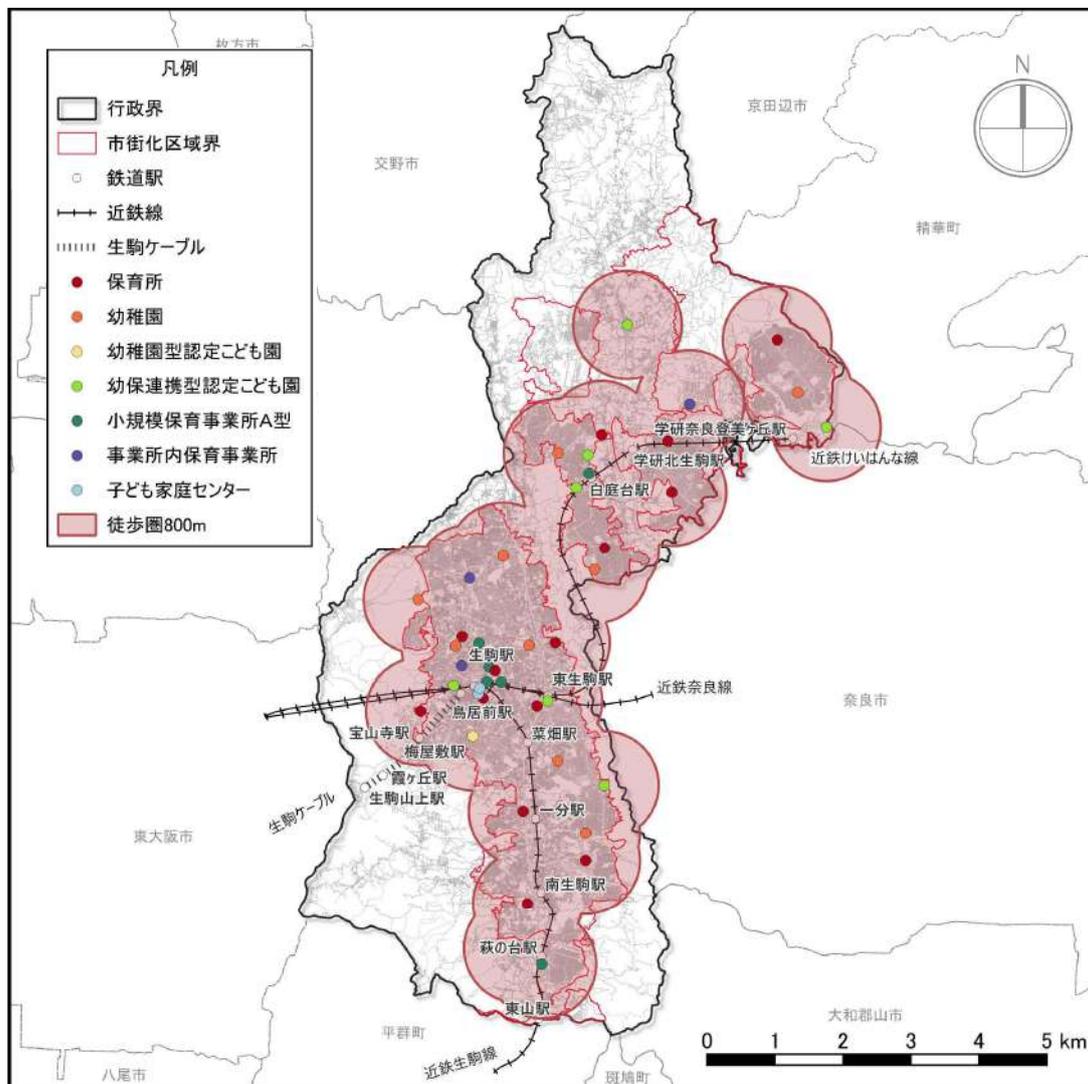


図 1-41 子育て支援施設の徒歩圏（800m）カバー状況図

出典：国土数値情報（令和5年）

(2) 子育て支援施設への行きやすさの満足度

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、子育て支援施設への行きやすさの満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は12.9%と低く、不満足（やや不満＋不満）は15.1%とやや高くなっています。

地域類型別では、南山手台、翠光台など計画的市街地（新）_南で満足が比較的高くなっています。また、市街化調整区域の旧集落_南・北では不満が高くなっています。

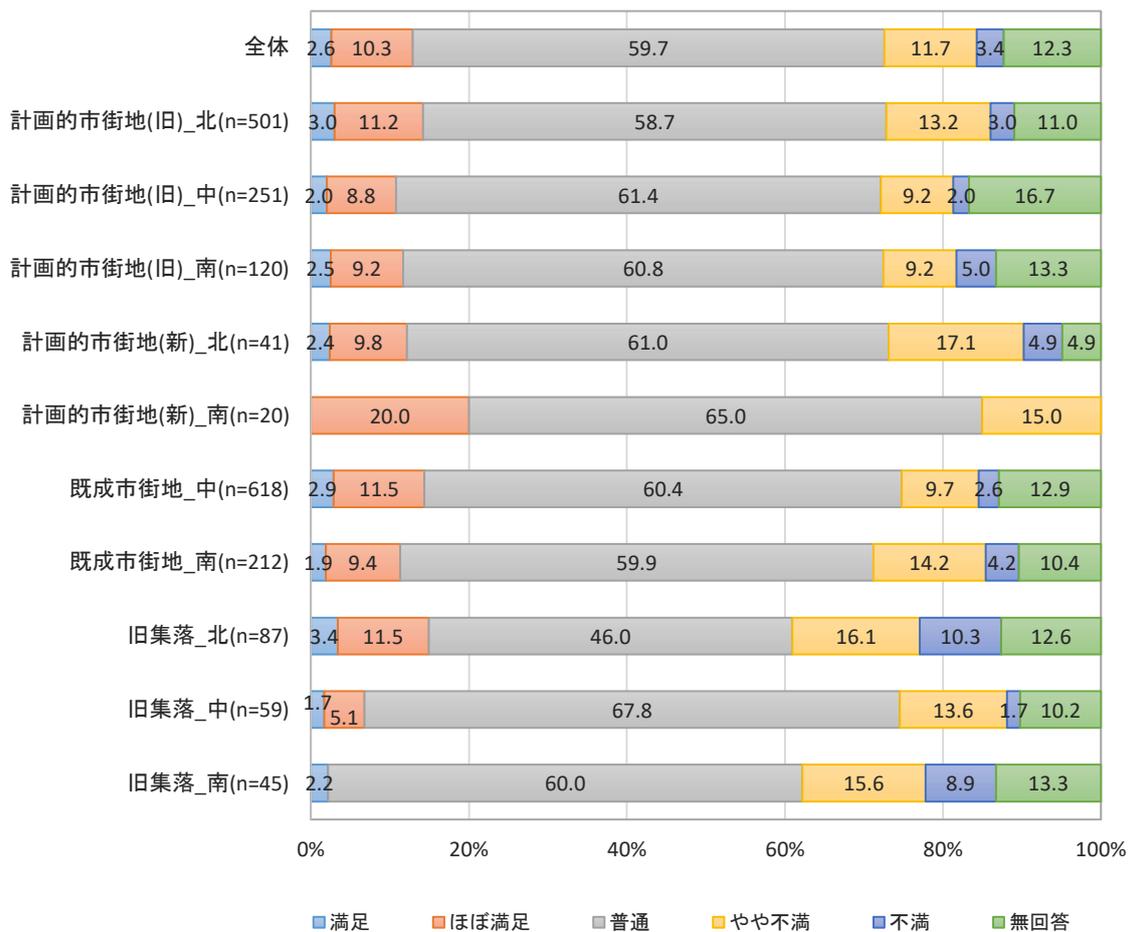


図 1-42 子育て支援施設への行きやすさの満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

1.5.4 教育施設

令和7（2025）年11月時点で、市立小学校、中学校が計画的住宅地の周辺に立地しています。また、県立高等学校、国立大学、専修学校も立地しています。

生駒南小学校と生駒南中学校は、施設一体型義務教育学校として整備を進めています。

表 1-12 教育施設の状況

小学校	中学校	高等学校	大学	専修学校
12	8	2	1	2

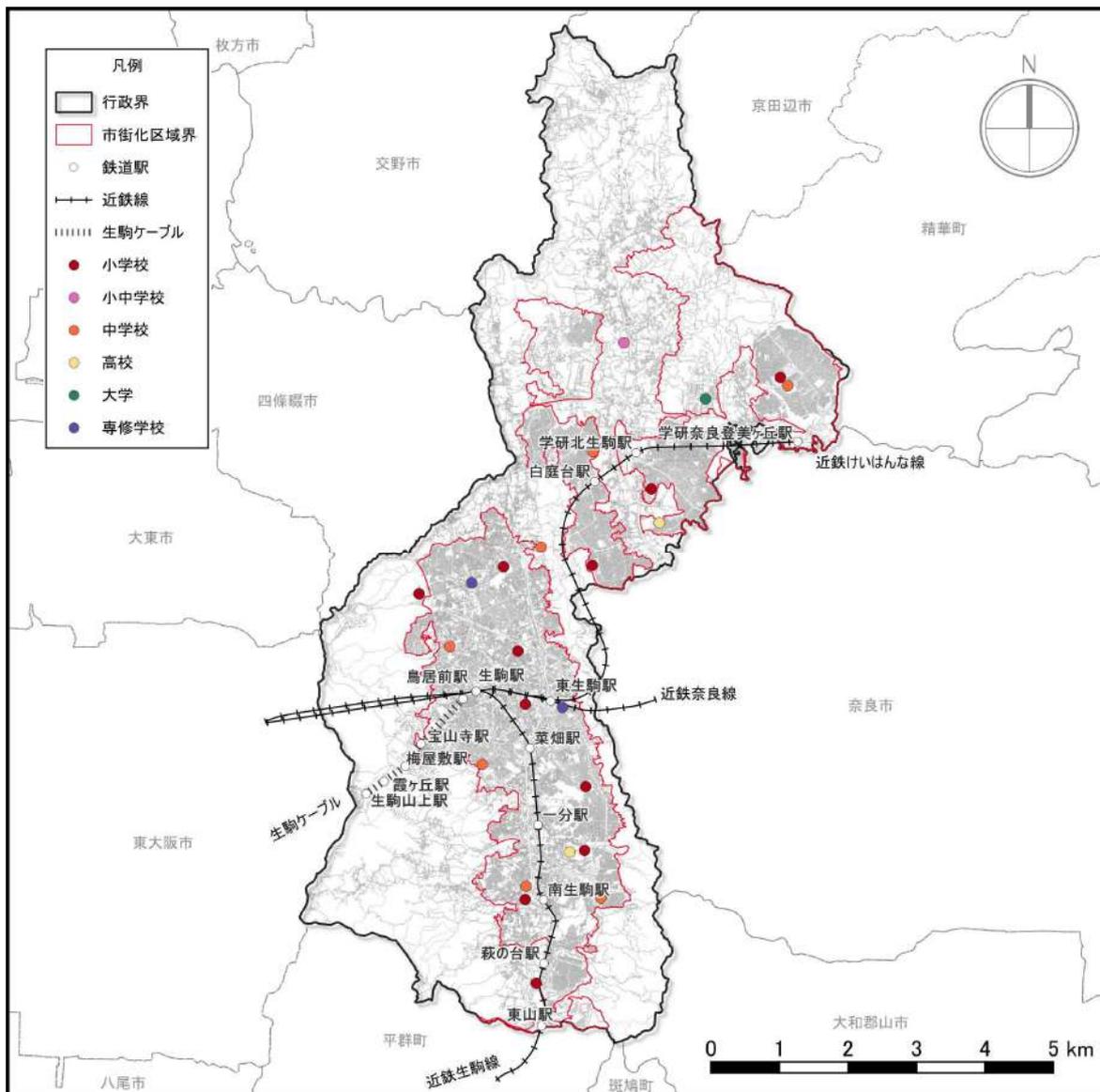


図 1-43 教育施設位置図

出典：国土数値情報（令和6年）

1.5.5 商業施設

(1) 商業施設の徒歩圏（800m）カバー状況

商業施設は、鉄道駅周辺や計画的住宅地内、国道168号沿道などに立地しています。令和2(2020)年から令和27(2045)年で、商業施設の徒歩圏内の人口密度は、38.8人/haから33.4人/haに低下し、カバー率は横ばいとなることが予想されます。

表 1-13 商業施設の徒歩圏（800m）カバー率

年度	都市計画区域内人口(人)	徒歩圏人口(人)	圏域面積(ha)	徒歩圏人口密度(人/ha)	カバー率(%)
令和2年	116,675	109,005	2,809.3	38.8	93.4
令和27年	100,082	93,755	2,809.3	33.4	93.7

出典：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

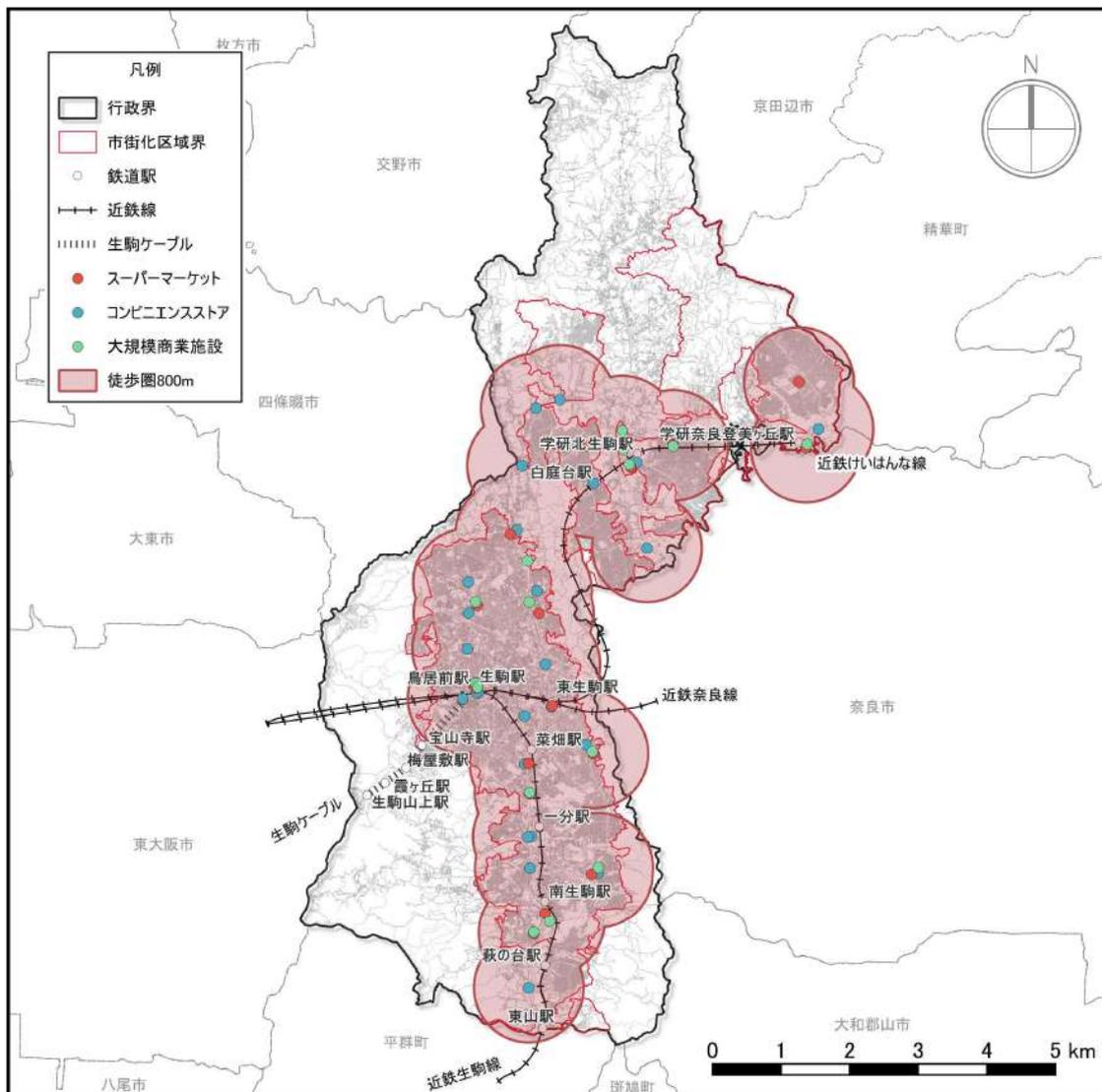


図 1-44 商業施設の徒歩圏（800m）カバー状況図

出典：iタウンページ（令和6年）より情報を取得

(2) 日常の買い物の便利さへの満足度

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、日常の買い物の便利さへの満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は42.4%と高く、不満足（やや不満＋不満）は24.7%と低くなっています。

地域類型別では、既成市街地_中や計画的市街地（新）_南で満足がやや高い一方、旧集落_南では不満が高くなっています。

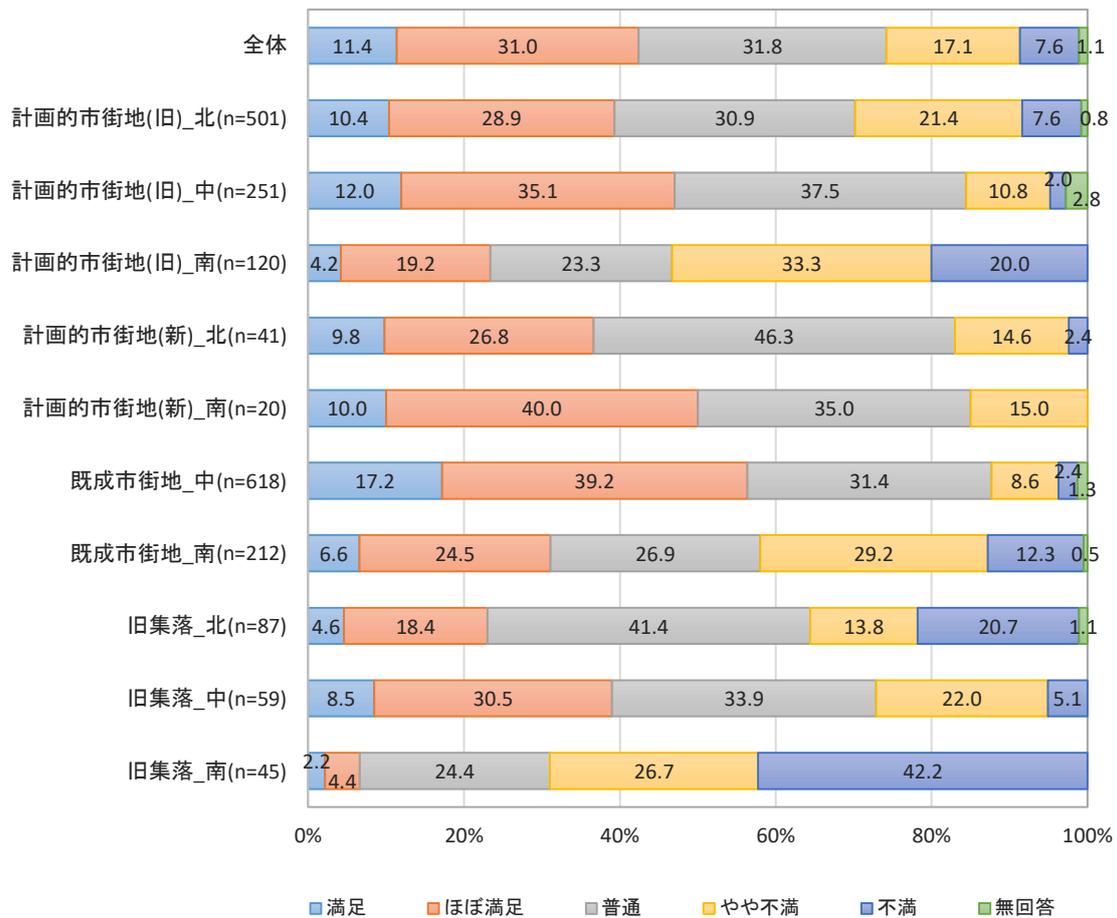


図 1-45 日常の買い物の便利さへの満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

1.5.6 医療施設

(1) 医療施設の徒歩圏（800m）カバー状況

医療施設として、生駒市立病院が東生駒駅南口に立地し、二次救急医療（小児二次救急を含む）の充実が図られています。令和2（2020）年から令和27（2045）年で、医療施設の徒歩圏内の人口密度は、35.1人/haから29.7人/haに低下し、カバー率は95.4%から94.2%に低下することが予想されます。

- ・医療施設：病院、診療所（内科・外科・小児科のいずれかを診療科目としているもの）

表 1-14 医療施設の徒歩圏（800m）カバー率

年度	都市計画区域内人口（人）	徒歩圏人口（人）	圏域面積（ha）	徒歩圏人口密度（人/ha）	カバー率（%）
令和2年	116,675	111,362	3,175.9	35.1	95.4
令和27年	100,082	94,290	3,175.9	29.7	94.2

出典：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

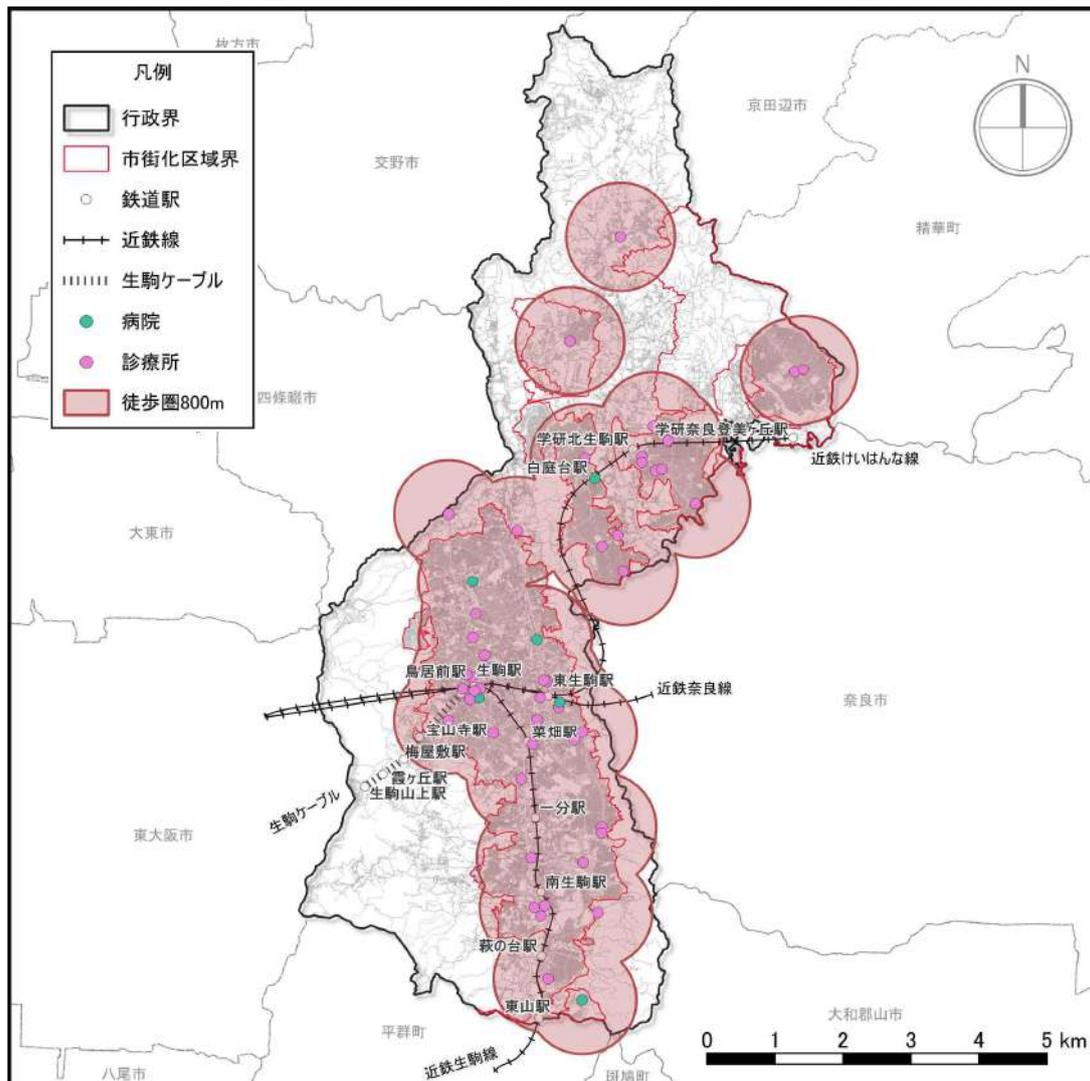


図 1-46 医療施設の徒歩圏（800m）カバー状況図

出典：国土数値情報（令和2年）

(2) 医療施設への行きやすさの満足度

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、医療施設への行きやすさの満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は27.6%、不満足（やや不満＋不満）は23.4%と近い値となっています。

地域類型別では、計画的市街地（新）_南で満足が高くなっています。一方、市街化調整区域の旧集落_中・北では不満が高くなっています。

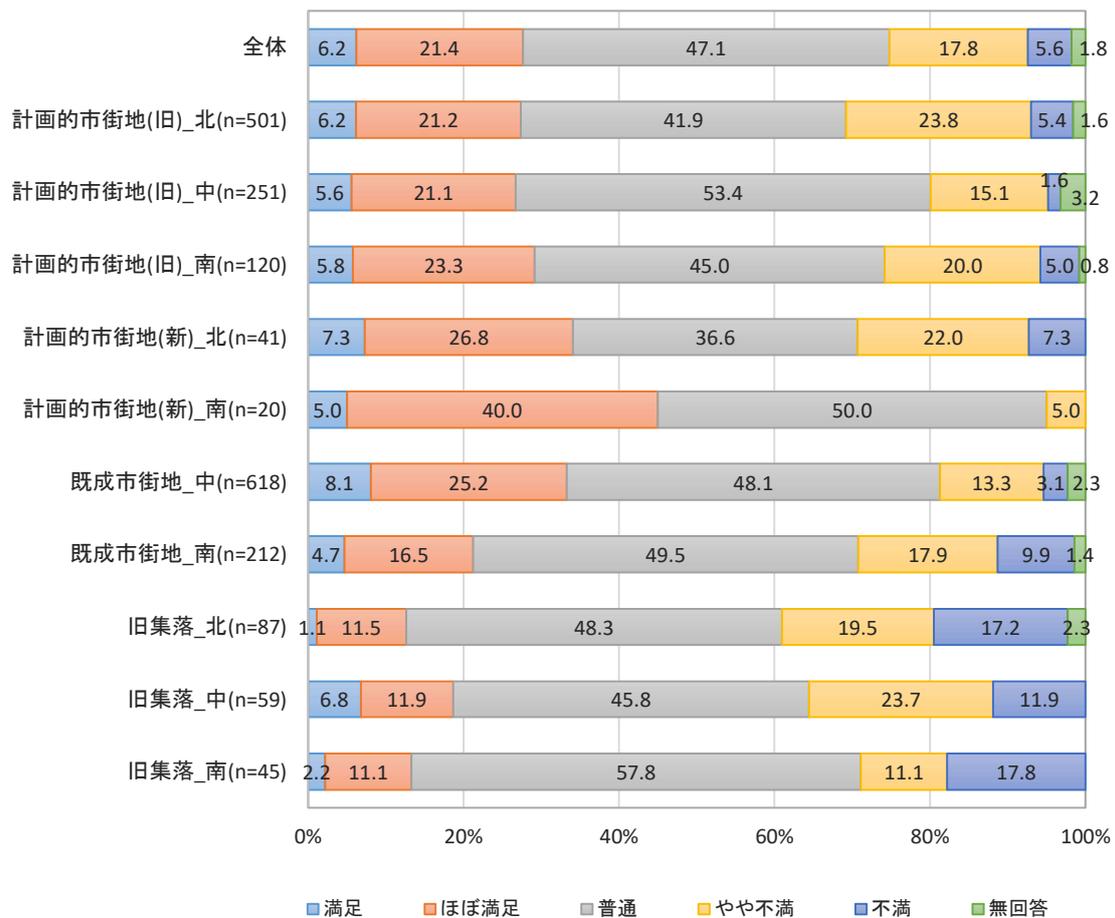


図 1-47 医療施設への行きやすさの満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

1.5.7 金融施設

(1) 金融施設の徒歩圏（800m）カバー状況

市内には、銀行、信用金庫、郵便局（ゆうちょ銀行）等の金融施設が鉄道駅周辺や計画的住宅地内に立地しています。令和2（2020）年から令和27（2045）年で、金融施設の徒歩圏内の人口密度は低下し、カバー率も低下することが予想されます。

表 1-15 金融施設の徒歩圏（800m）カバー率

年度	都市計画区域内人口（人）	徒歩圏人口（人）	圏域面積（ha）	徒歩圏人口密度（人/ha）	カバー率（%）
令和2年	116,675	86,423	1,878.4	46.0	74.1
令和27年	100,082	73,943	1,878.4	39.4	73.9

出典：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

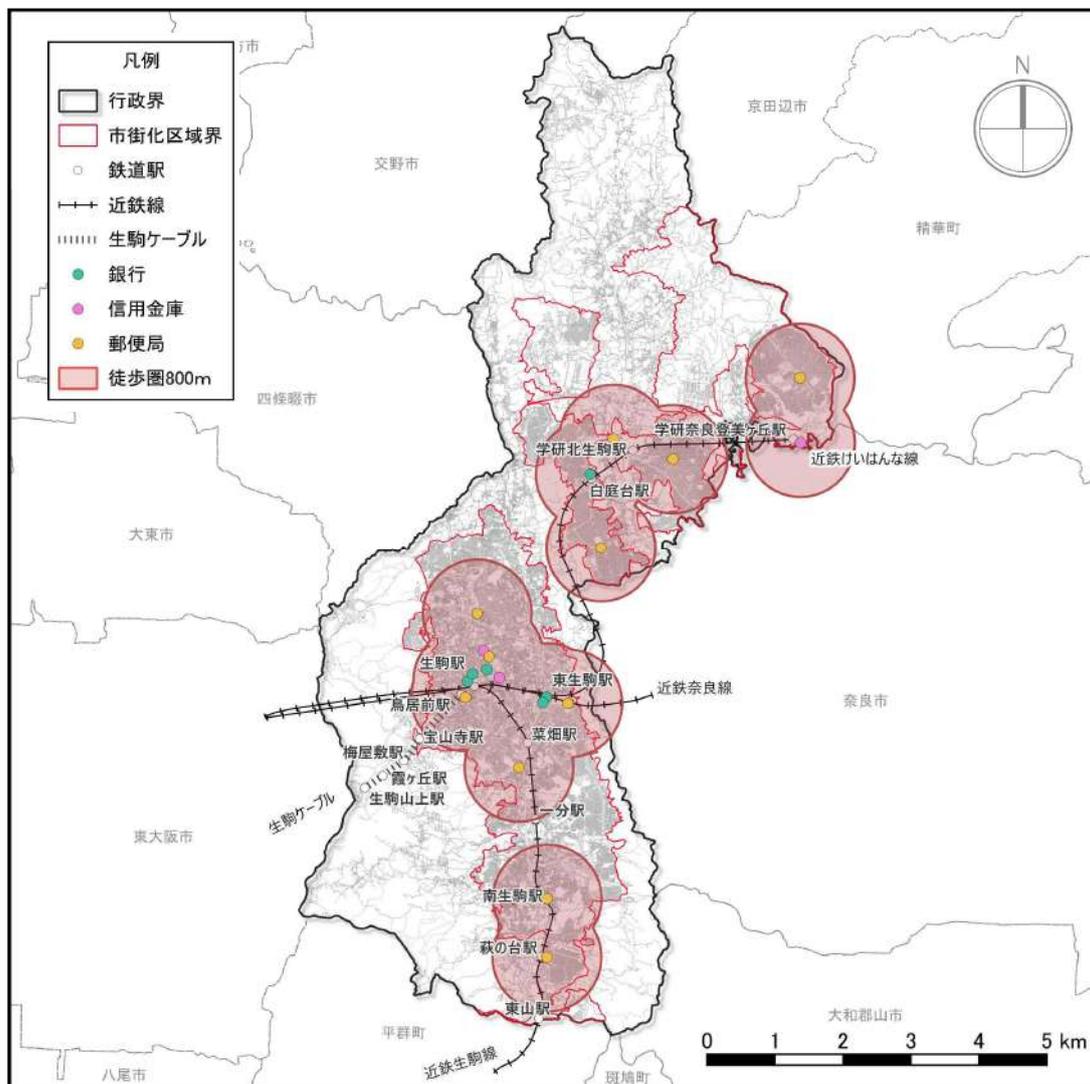


図 1-48 金融施設の徒歩圏（800m）カバー状況図

出典：iタウンページ（令和6年）より情報を取得

1.5.8 文化・スポーツ施設

(1) 文化・スポーツ施設の状況

令和7（2025）年11月時点で、市内には、コミュニティ・文化施設及び図書館として、公民館、コミュニティセンター、図書館・分館が、生駒駅、南生駒駅、学研北生駒駅の周辺や鹿ノ台の計画的住宅地などに立地しています。

また、スポーツ施設として、野球場、多目的グラウンド、テニスコート、水泳プール、体育館、武道館等があり、市内広くに分布して立地しています。

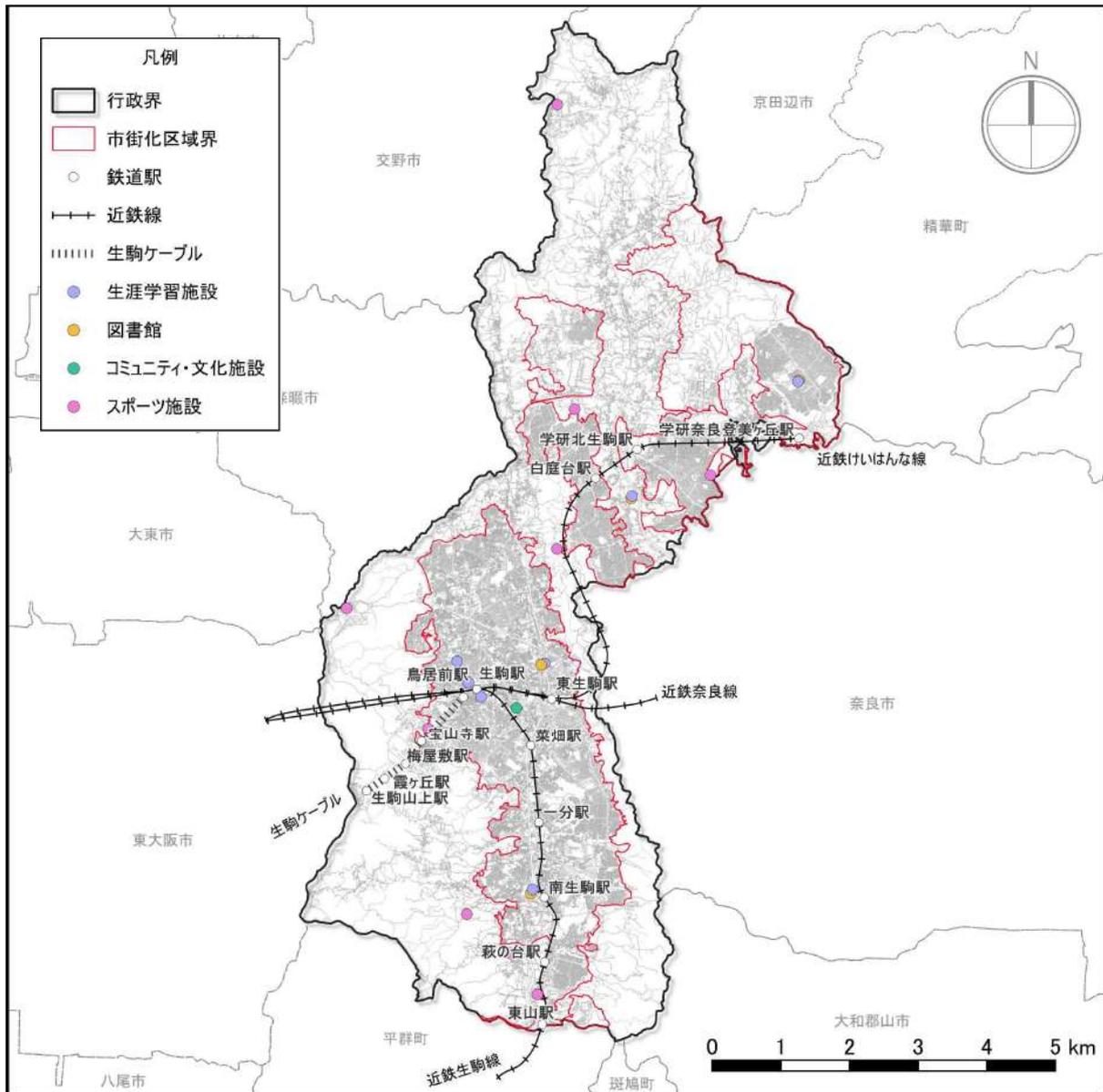


図 1-49 文化・スポーツ施設位置図

出典：国土数値情報（令和6年）より一部修正

(2) 文化・スポーツ施設への行きやすさの満足度

1) 文化施設

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、文化施設（図書館・コミュニティセンター等）への行きやすさの満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は29.4%とやや高く、不満足（やや不満＋不満）も18.7%と低くなっています。

地域類型別では、既成市街地_中で満足が高い一方、旧集落_中・北では不満が高くなっています。

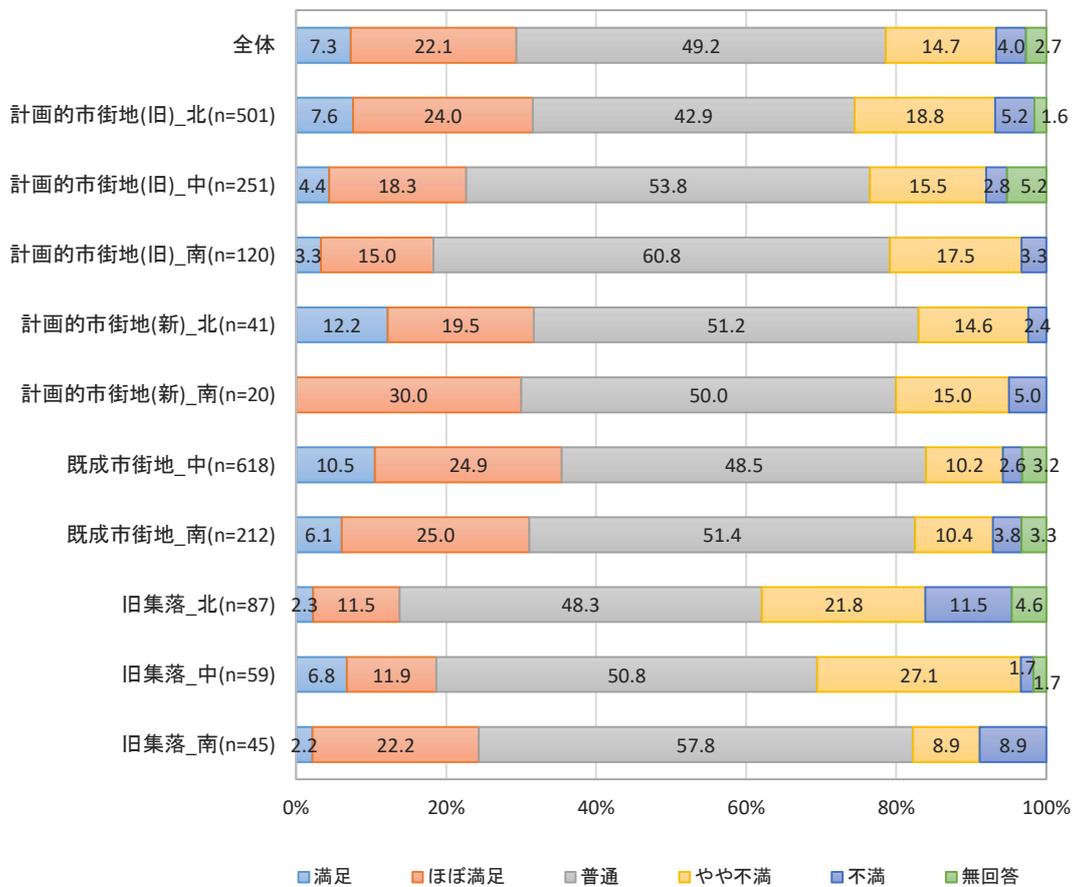


図 1-50 文化施設（図書館・コミュニティセンター等）への行きやすさの満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

2) スポーツ施設

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、スポーツ施設（体育館等）への行きやすさの満足度は、満足（満足+ほぼ満足）は10.0%と低く、不満足（やや不満+不満）も34.1%と高くなっています。

地域類型別では、計画的市街地（新）_北では満足が高い一方、不満も高くなっています。

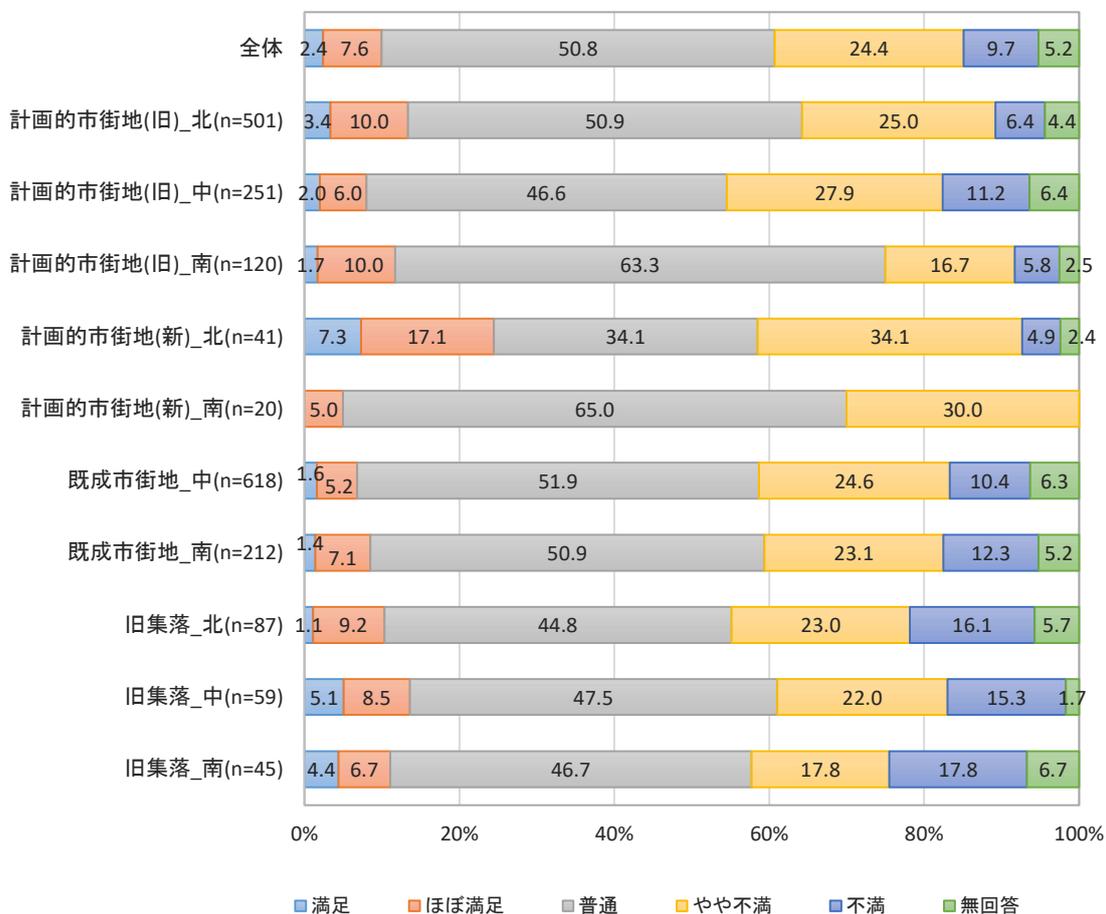


図 1-51 スポーツ施設（体育館等）への行きやすさの満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

1.6 道路・交通

1.6.1 道路の整備状況

(1) 国道・県道

主要な道路として、交野市と平群町に連絡する国道168号、四條畷市と精華町に連絡する国道163号、四條畷市と奈良市に連絡する阪奈道路（県道1号、8号）、東大阪市と奈良市に連絡する第二阪奈有料道路などが通っています。

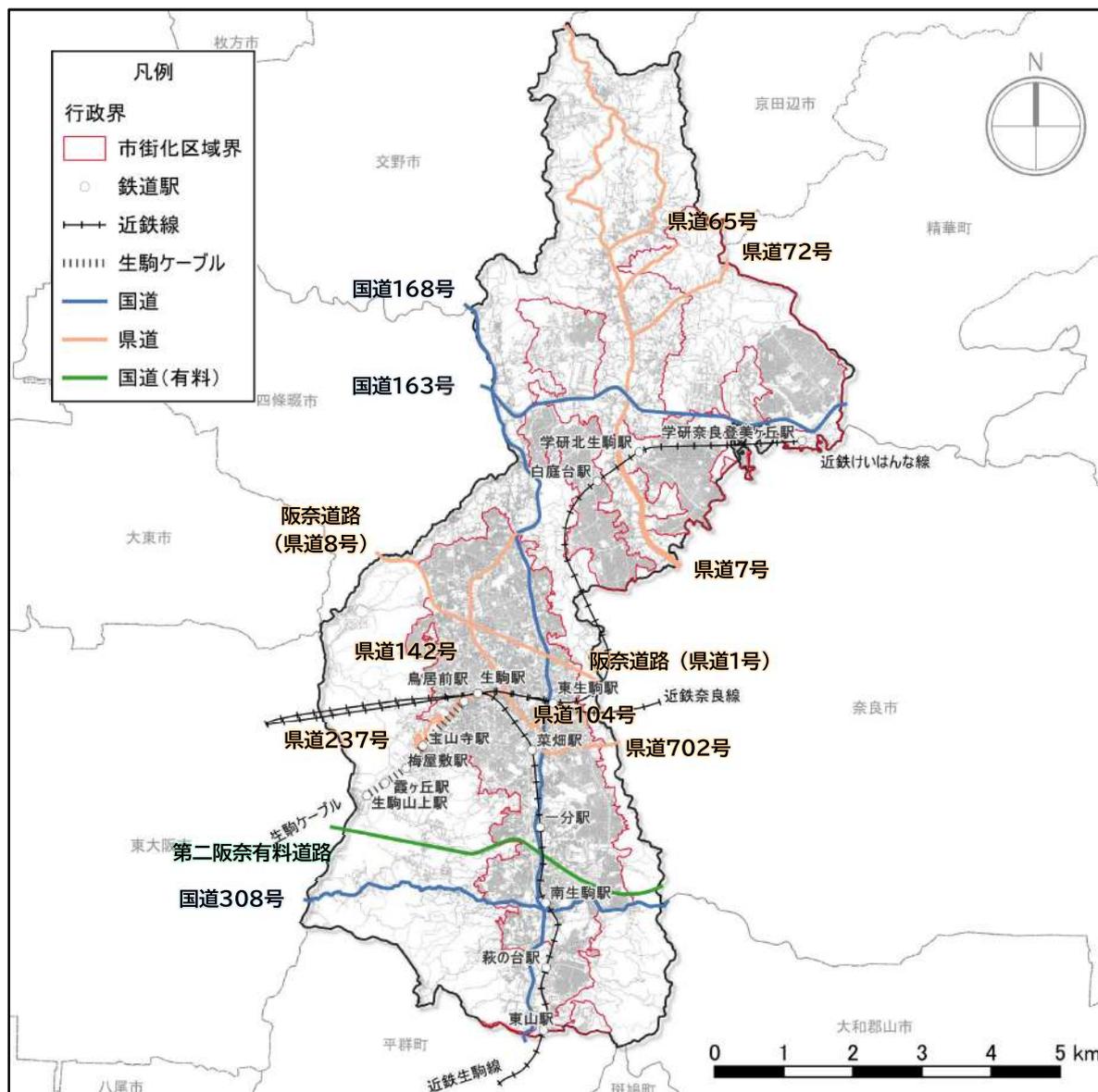


図 1-52 国道・県道

(2) 都市計画道路の整備状況

令和7（2025）年11月時点の都市計画道路は、国道163号バイパス線（清滝生駒道路）等で事業中のあるものがあります。また、高山南北線、高山東西線等の学研高山地区第2工区の土地区画整理事業に向けて都市計画決定されたものがあります。

※完了：整備が完了した都市計画道路

改良済：道路用地が確保されており、一般交通の用に供している都市計画道路

概成済：改良済以外の区間のうち、路線として都市計画道路と同程度の機能を果たしうる現道（おおむね計画幅員2/3以上、又は4車線以上の幅員を要する道路）を有する区間で、その現道に対応する都市計画道路

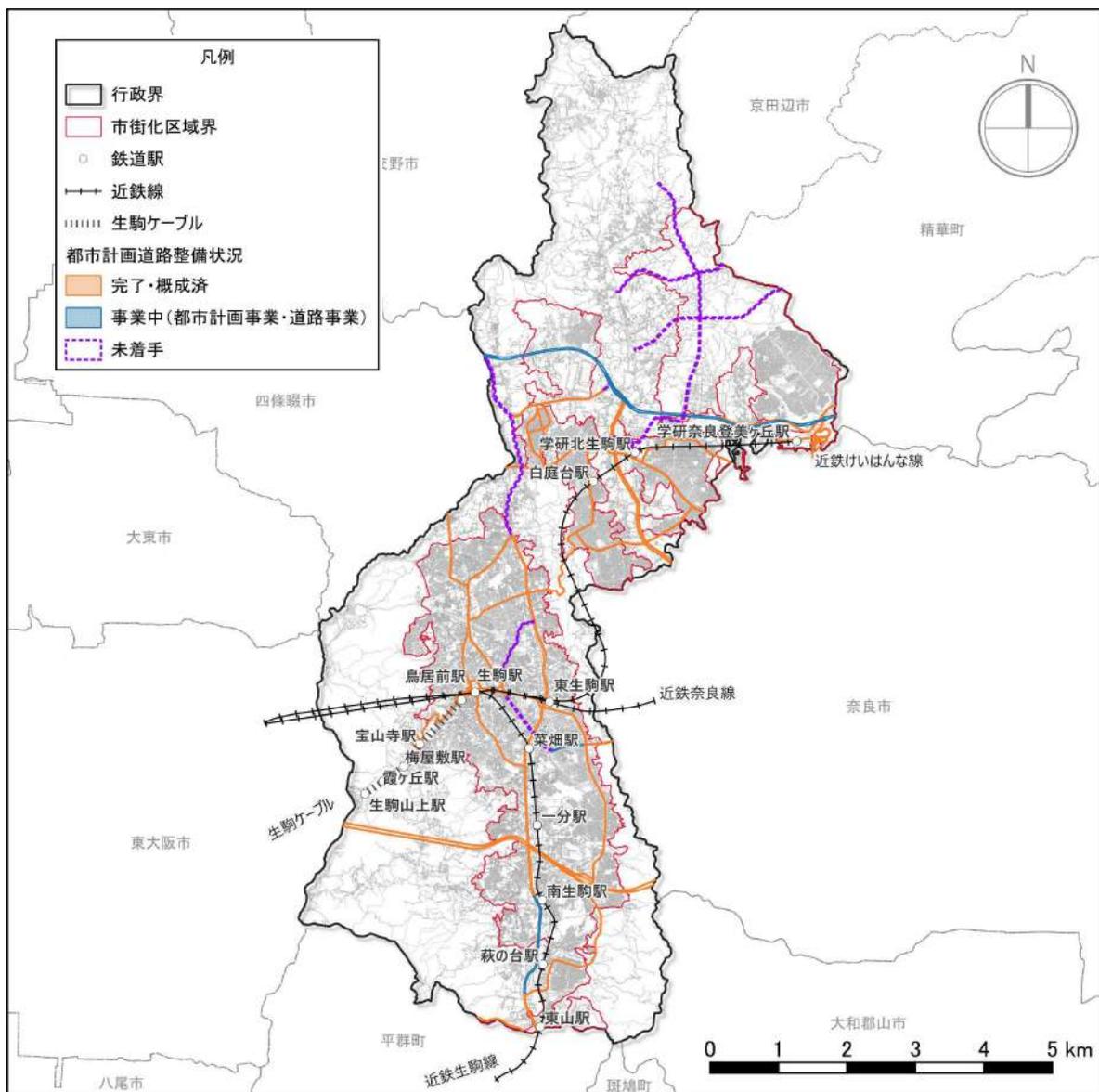


図 1-53 都市計画道路の整備状況図

1.6.2 公共交通

(1) 通勤・通学の交通手段分担率

本市では、鉄道、ケーブル、路線バス、コミュニティバス「たけまる号」が運行しています。

通勤・通学の交通手段分担率は、鉄道が最も多く54.5%を占め、次いで自動車の27.9%、二輪車（バイク、自転車）の4.8%、バスの1.7%となっています。

生駒駅周辺、東生駒駅周辺へは、北部地域の高山地区や南部地域の近鉄生駒線とバス路線に挟まれた地区などを除き、おおむね60分以内で到達できる状況にあります。

表 1-16 通勤・通学の交通手段分担率

項目	鉄道	バス	自動車	二輪車	徒歩その他
分担率	54.5%	1.7%	27.9%	4.8%	11.1%

出典：国勢調査（令和2年）

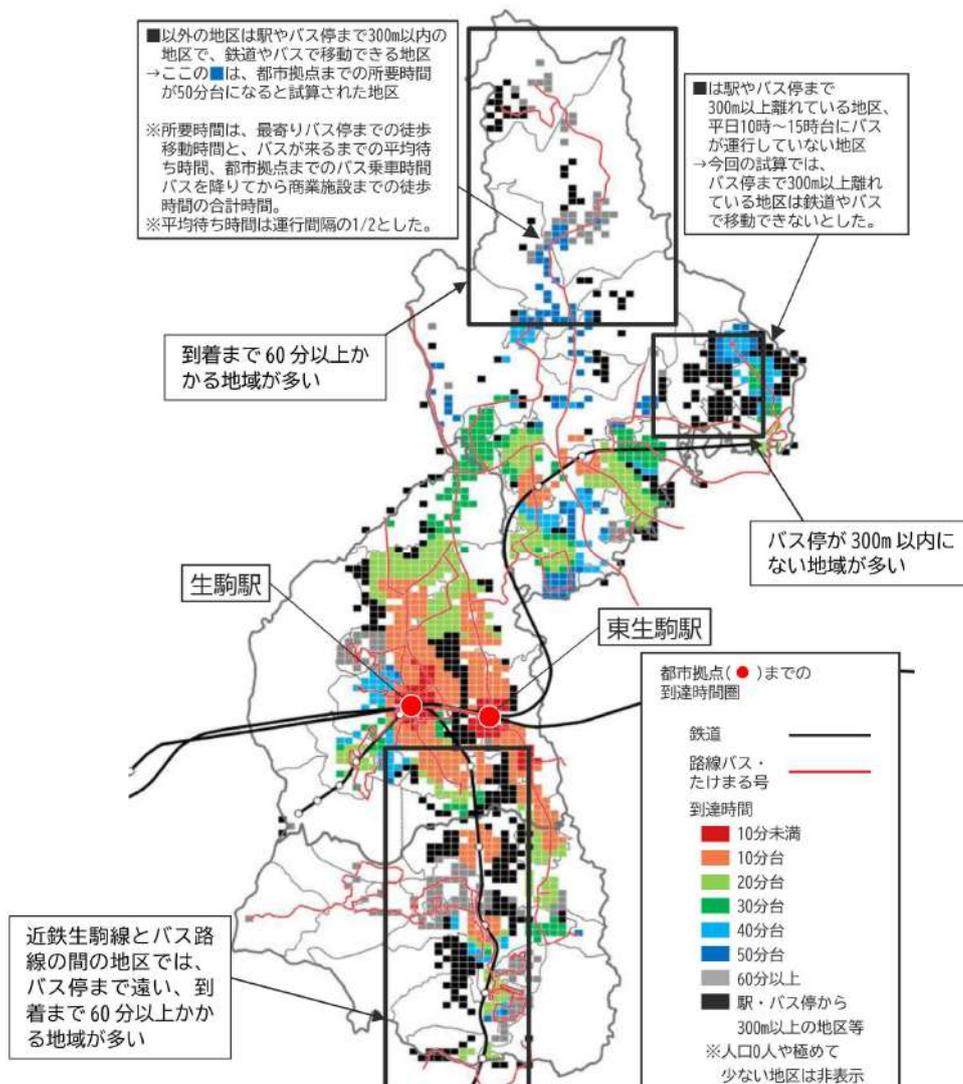


図 1-54 生駒駅と東生駒駅への到達時間圏

出典：生駒市地域公共交通計画（令和5年12月一部改訂）

(2) 鉄道・バス

市内には、生駒駅を中心に、奈良と大阪難波・神戸三宮を結ぶ近鉄奈良線（阪神なんば線直通）、王寺方面への近鉄生駒線、夢洲・本町方面への近鉄けいはんな線（大阪メトロ中央線直通）、生駒山・宝山寺へ登る生駒ケーブルが、公共交通として運行しています。

また、駅と住宅団地を結ぶ系統、南北方向の系統などの18の路線バスと7のコミュニティバスが運行されています。令和6（2024）年4月からは、桜ヶ丘地区でコミュニティバスの実証運行が開始され、今後、本格運行されると、生駒駅周辺へのアクセスの向上が期待されます。

表 1-17 公共交通の徒歩圏（鉄道駅800m、バス停300m）カバー率

年度	都市計画区域内人口（人）	徒歩圏人口（人）	圏域面積（ha）	徒歩圏人口密度（人/ha）	カバー率（%）
令和2年	116,675	110,681	3,233.4	34.2	94.9
令和27年	100,082	93,803	3,233.4	29.0	93.7

出典：国勢調査、日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

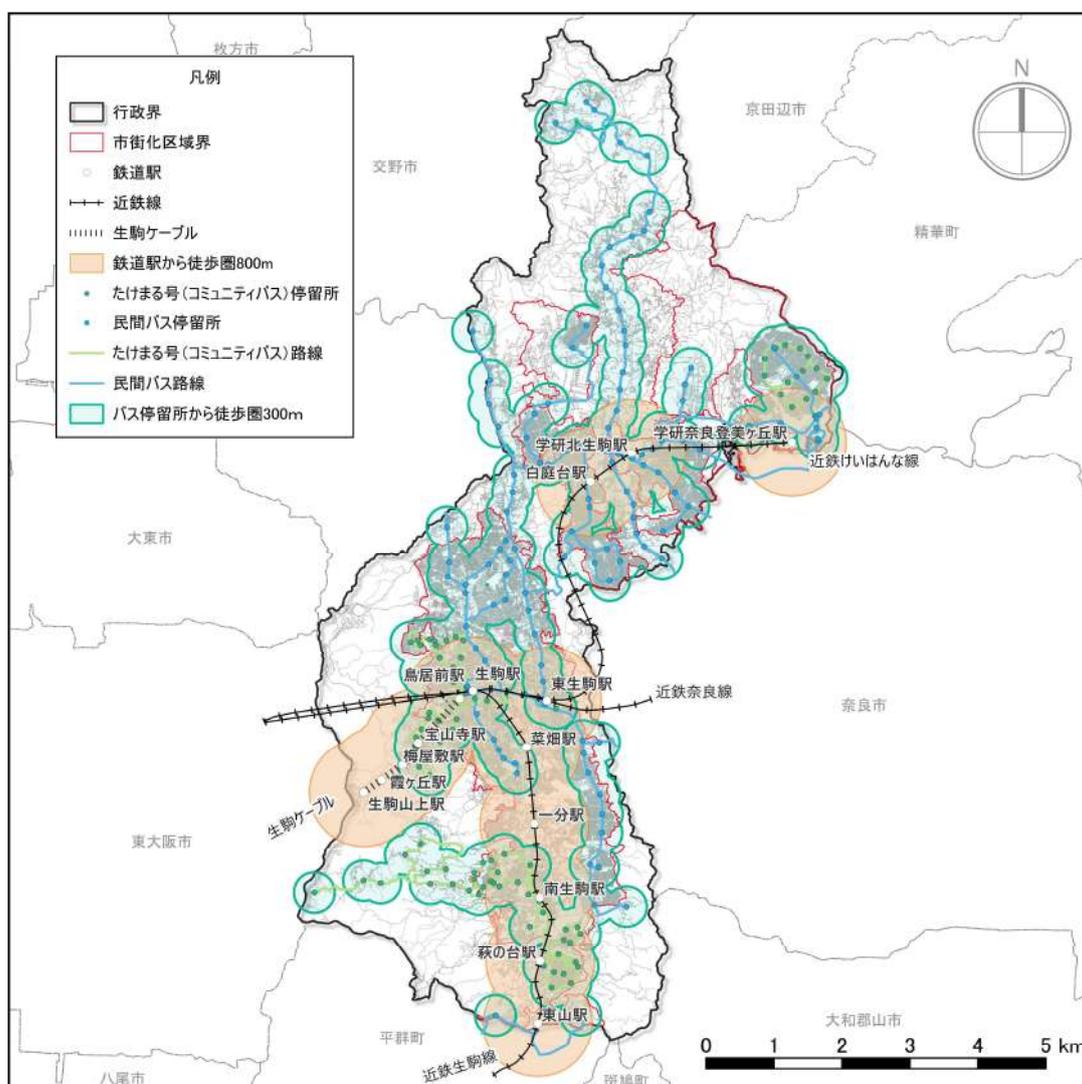


図 1-55 鉄道・バス網徒歩圏図

出典（鉄道）：国土数値情報（令和5年）、

（バス）：国土数値情報（令和4年）をもとに一部修正（令和7年）

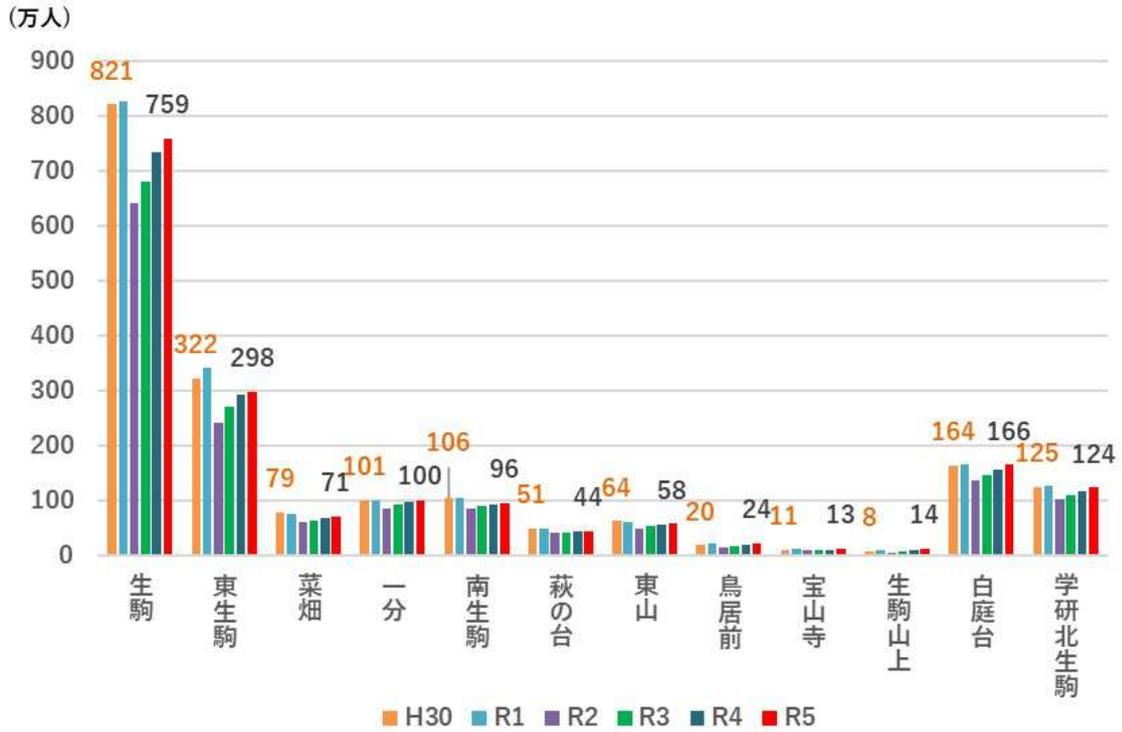


図 1-56 鉄道の乗車人員の推移

出典：近畿日本鉄道株

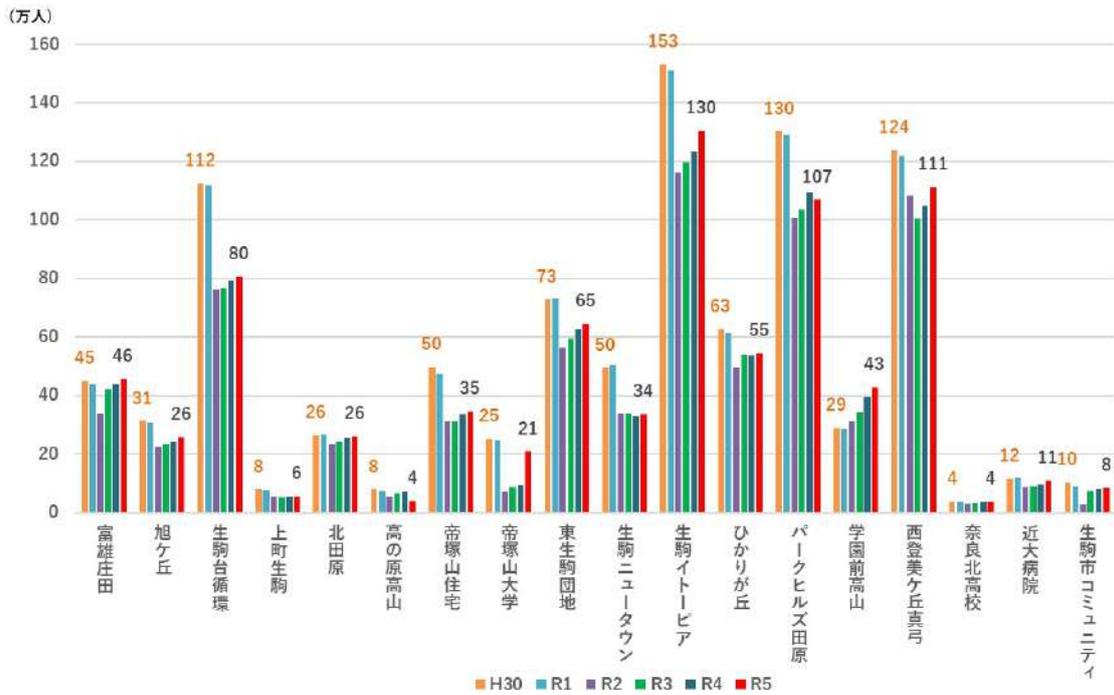


図 1-57 路線バスの輸送人員の推移

出典（コミュニティバスを除く）：奈良交通株

(3) 公共交通の利便性の満足度

1) 鉄道

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、鉄道の利便性の満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は49.4%と高く、不満足（やや不満＋不満）は16.9%と低くなっています。

地域類型別では、既成市街地_中や計画的市街地（旧）_中など、生駒駅や東生駒駅の周辺で満足が高い一方、南山手台、翠光台（計画的市街地（新）_南）や市北部の旧集落_北など鉄道駅から離れた地域で不満が高くなっています。

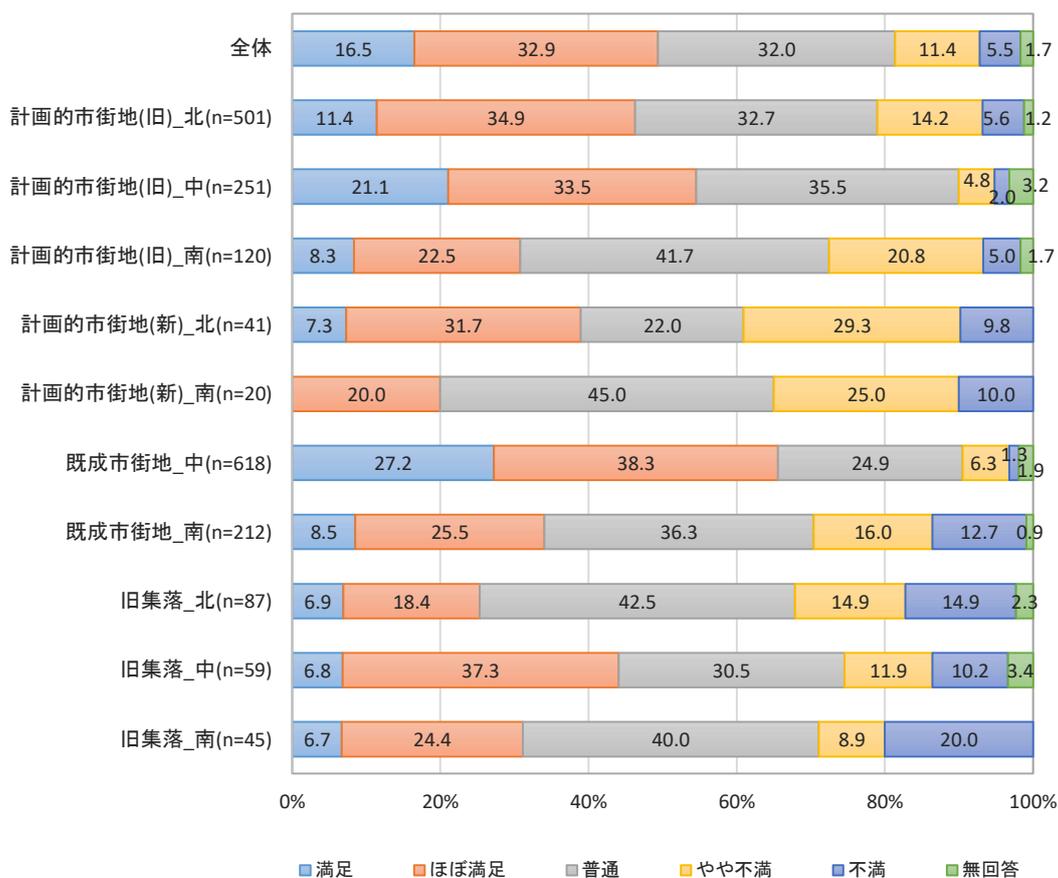


図 1-58 鉄道の利便性の満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）

2) バス

令和元（2019）年12月に実施した「生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査」では、バスの利便性の満足度は、満足（満足＋ほぼ満足）は29.7%と高く、不満足（やや不満＋不満）は29.0%と近い値となっています。

地域類型別では、路線バスが計画的住宅地のエリア内を通過している計画的市街地（旧）_中・北などで満足が高い一方、バスの運行が少ない計画的市街地（新）_南・北や市北部の旧集落_北などで不満が高くなっています。

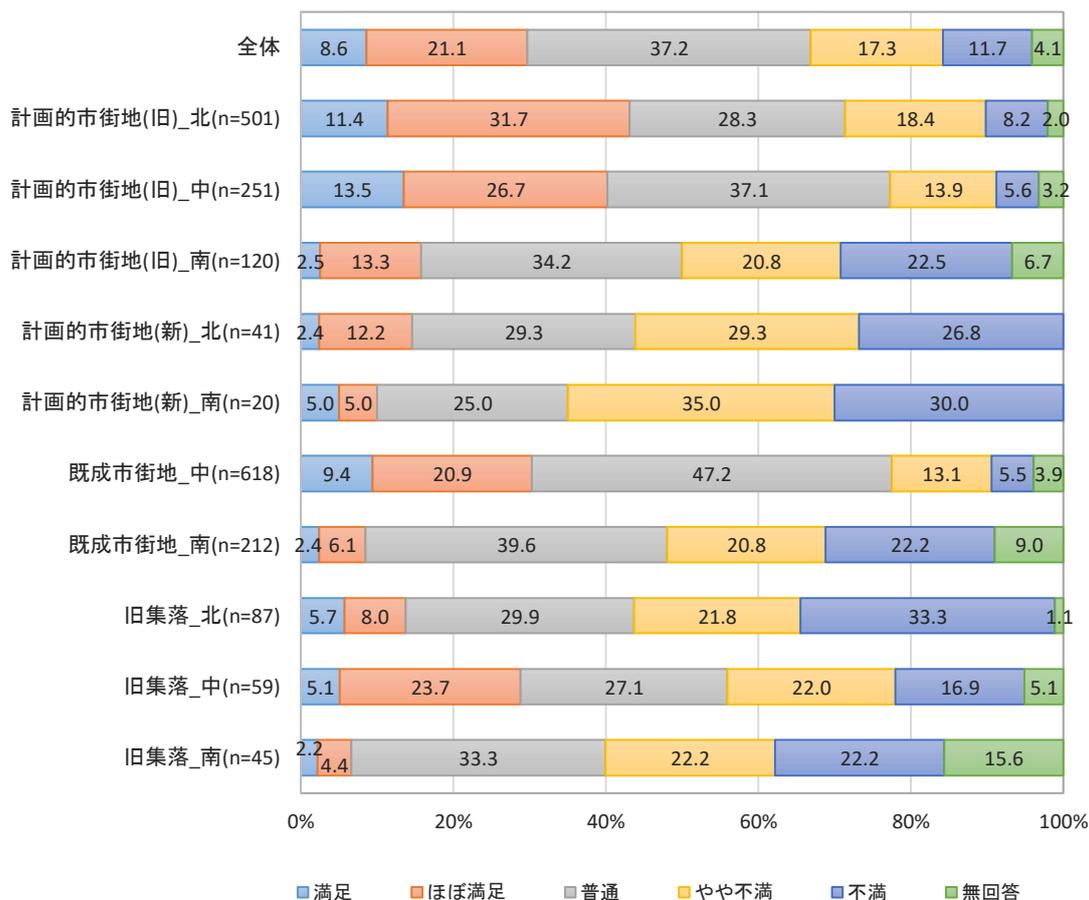


図 1-59 バスの利便性の満足度

出典：生駒市都市計画マスタープラン改定に向けた市民意識調査（令和元年12月）